

指笛楽友会通信（第48号）

平成24年2月27日

今年は例年以上に厳しい寒さが続いておりますが皆様お変わりございませんでしょうか。既に立春は過ぎてしまいましたが、「春は名のみ風の寒さよ」という歌詞のような寒さが続いています。それでも間もなく、啓蟄、春分と続きます。梅の花の便りとともに春の訪れは、このような節気の文字にも表れていて、先人の知恵を思い起こしてくれます。例年のことですが、春が待ち遠しいこの頃です。指笛楽友会通信をお届けします。

まず指笛楽友会斎藤会長からのご挨拶です。

1. 斎藤会長年頭挨拶

「指笛音楽発展・普及のために手がけておきたいこと」

指笛楽友会会長 斎藤 秀元

新年を迎えましたが早くも弥生3月がついそこまで来ています。会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。私は2月中旬に救援活動に熱心な仲間に誘われ宮城県気仙沼と岩手県陸前高田を訪問する機会を得ました。いずれも昨年の大震災と大津波に見舞われた惨状を沢山残っていて、どうやって復興できるのかと考えさせられました。夕暮れ近くに一本松を見たとき、自分が一本松になったような感覚になり、一緒にいた5万本の仲間のことを想い胸を締め付けられたほどでした。気仙沼では仮設の商店街が開店したことを祝って買い物と飲食で少しばかりの応援をし、併せて指笛・草笛を披露して来しました。

新年にあたり指笛楽友会は何を目指して活動すべきかを考えてみました。会員個人としては自分の趣味活動として技量の向上を計り大いに楽しんでいくこともよいでしょう。これが活動の基本だといえるかもしれません。しかし田村大三先生が創始された指笛音楽の発展・普及という視点での活動を考えると、会員が力を合わせて組織的に活動を展開しないととてもおぼつかないように思います。まず可能なところから着手してみたいものです。

1月の総会で確認された本年度の事業計画を遂行すると共に、次のような事項についてもやがては取り上げて行きたいものです。

1. 発展・普及に向けての会員の組織編製の作成
最初は簡素で弾力的編制とする。
2. 会員へのアンケート

指笛音楽をマスターしてよかったことなどの具体例やエピソードを沢山集め、指笛音楽や指笛に対する興味・関心をそそるようにする。

3. 指笛音楽テキストの作成

田村先生作成の手引きの改定版を手がけるか、新規のテキストを作成する。

4. 指笛音楽普及キャラバンを編制

2～3名でチームを構成し、各地の指笛音楽講習会および演奏会の支援をする。地方派遣には若干の補助金を支給する。

5. 小学校の教育課程に指笛や口笛、草笛など楽器を使用しないでも音楽を楽しめる教材として位置づけできるように提案していく。

童謡や唱歌の演奏ができるようになれば、日本の文化を継承する若者を育成できるし、社会にあっても長幼を繋ぐ架け橋となる。

まだ思いつきの羅列したもので十分吟味したものではありません。会員諸氏のご協力無しには、指笛音楽が音楽として大地にしっかりと根を張ることができません。いろいろとご意見をお聞かせください。

.....

2. 静海先生の近況

静海先生が榛名に転居されてもう1年以上が過ぎました。新しい環境のもとで、元気でお過ごしのご様子です。最近習字を習い始めたそうです。先日静海先生に寄稿していただきましたのでご紹介します。

「老いて初心を忘れず」 田村 静海

私の生涯は習字を習う機会に恵まれなく、自らも不得手とっていました。一昨年お正月を迎える頃、そこは絵が飾られた人目に入りやすい展示場になっているのですが、何とその日から見事に習字と変えられ、思わず見入ってしまったのでした。黒い墨の字がお正月を迎える心備えを教えているような気持ちになって“黒い墨の字はいいなあ”と昔正月を迎える子供の時のなつかしさが飛び出てくるようでした。入居したばかりでこの習字の提供はどこからかも知らず、又名前があってもわからないまま通るたびそこに目が止るのでした。そのうち入居者で習っている人達の字とわかりました。そうわかると興味も高まりますが、感心するばかりで自分にはとても書けるものではないと習う気持ちになれません。それがどうしてか習字から気持ちが離れないのが不思議になり、私は習字が好きになったようでした。それは御指導されている先生の書に魅せられていたからでした。先生の作品からの感動は一言では言いきれない程私の心は支配されていました。字の美しさ、やわらかさ、力強さ、整われた字の流

れは尊く生きているように思うのでした。今までも習字は見させていただいています。でも此の度はそれとは違ったものでした。先生の作品から習字の奥深さを知らされ、今になって学ばなければならない自分にとって大切なものに気づかせられて、最も謙虚な姿勢からを基礎としての習字の世界に入門を志したのでした。自然の恵みと向き合える榛名に来て筆を持つふさわしさ尊く感じています。老いて初心を忘れないようにと習字を学ぶ事を喜びにして励んでいます。

神からの祝福の源を約束された田村大三の生きた器からこの学びも祝され、育まれてゆける喜びを思い神に深く感謝をささげ、只一筋を祈ってやみません。

.....

3. 2012年度総会のご報告

去る1月9日に開催された2012年度指笛楽友会総会で審議されました事業計画の主なものをご紹介します。

2012年度の主な事業予定

① 指笛音楽78周年記念研究発表会

日時：2012年10月11日（木）13時～22時。

場所：練馬区立文化センター小ホール

注：詳細なスケジュールは追ってお知らせします。

② 楽友会通信発行

担当者は次のとおりです。

2月：竹中、5月：武井、8月：松谷、12月：有吉

③ 地域演奏会、ボランティア活動など

・第38回善意の輪を広げようチャリティショー（東京善意銀行友の会）：7月1日（日）、会場：新宿三井ビル前55広場。

・みんなのおんがくかい（健生会主催）：6月9日（土）

・第35回練馬まつり出演：10月21日（日）

.....

4. 事務局からのお知らせ

(1) 10月の発表会に向けた練習スケジュール等は次のとおりです。伴奏用のCD、テープなどご持参ください。

① 3月の練習

日時：3月25日（日）13時～16時。16時～17時は役員会。

場所：U（ユー）スタジオ：西武池袋線「大泉学園」南口下車徒歩2分。

電話：03-3924-6455

②4月の練習

日時：4月29日（日） 13時～16時。16時～17時は役員会。

場所：U（ユー）スタジオ。上記3月と同じです。

③5月の練習

日時：5月27日（日） 13時～16時。16時～17時は役員会。

場所：U（ユー）スタジオ。上記3月と同じです。

注：6月以降は別途お知らせする予定です。

(2) 発表会への参加申し込み

申し込みの葉書は指笛楽友会通信5月号に同封します。締め切りは6月9日（土）を予定しています。

上記（1）、（2）に関して不明な点は下記にお問い合わせください。

連絡先：斎藤秀元 松谷 茂 中村倫二 竹中速雄

.....

まだまだ寒い日が続くことと思いますが、春の足音はすぐ近くまで来ています。皆様どうぞご自愛ください。

次回は5月号となります。

（編集責任 竹中速雄）